



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 真治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR統括部長

(氏名) 三上 仙智

TEL 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	22,335	8.2	△260	—	△354	—	101	—
27年3月期第2四半期	20,644	△4.3	△136	—	△292	—	△341	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △166百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △346百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	11.11	—
27年3月期第2四半期	△37.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	29,988	11,806	37.6
27年3月期	29,992	12,110	38.5

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 11,282百万円 27年3月期 11,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想額については未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	△0.5	△500	—	△600	—	△450	—	△49.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	9,127,338 株	27年3月期	9,127,338 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	18,843 株	27年3月期	18,813 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,108,509 株	27年3月期2Q	9,045,311 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安トレンドによって輸出型企業にプラスの影響を与える一方、中国、アセアン諸国の景気下振れと消費税率の引き上げの影響により、国内の企業活動にマイナス影響を与えました。

また、海外経済を取り巻く環境も欧州の金融問題と中国のバブル懸念等により力強さに欠ける中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは日本、アセアン及び北中米地域において、中長期視点に立った事業収益基盤づくりを進めておりますが、足元の事業収益はフィリピン工場、メキシコ工場の開設にかかる先行投資費用と国内メーカー事業の減収による影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,335百万円（前期比8.2%増）、営業損失は260百万円（前期は136百万円の営業損失）、経常損失は354百万円（前期は292百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101百万円（前期は341百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、バンコク工場、ベトナム工場が増収増益となったものの、メキシコ工場及び国内稲沢工場の先行投資費用等の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は5,902百万円（前期比8.0%増）、全社費用配賦前のセグメント損失43百万円（前期は110百万円のセグメント利益）、配賦後のセグメント損失は86百万円（前期は26百万円のセグメント利益）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォン、タブレット型端末向け部材及び検査治具用部材の他、燃料電池用部材の好調な受注に支えられました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は9,862百万円（前期比3.9%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は236百万円（前期比10.6%増）、配賦後のセグメント損失は26百万円（前期は33百万円のセグメント損失）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、中華圏における金型販売の減益、コラート工場における新規立上に係る製造経費の増加とフィリピン工場の先行投資費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は3,989百万円（前期比33.9%増）、全社費用配賦前のセグメント損失は102百万円（前期は91百万円のセグメント損失）、配賦後のセグメント損失は126百万円（前期は115百万円のセグメント損失）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器向け配管部品は堅調に推移したものの、住宅用配管部材が大きく減少する中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,496百万円(前期比9.1%減)、全社費用配賦前のセグメント利益は69百万円(前期比46.2%増)、配賦後のセグメント損失は11百万円(前期は36百万円のセグメント損失)となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,227百万円(前期比3.7%減)、全社費用配賦前のセグメント利益は81百万円(前期比34.4%減)、配賦後のセグメント利益は15百万円(前期比78.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて381百万円増加し15,874百万円となりました。これは棚卸資産が242百万円、現金及び預金が173百万円、未収入金が139百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が74百万円、電子記録債権が71百万円減少したことなどが主な要因となっております。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて384百万円減少し14,113百万円となりました。これは建設仮勘定が233百万円増加したものの、建物及び構築物(純額)が424百万円、投資有価証券が212百万円減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3百万円減少し29,988百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて439百万円増加し13,049百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が203百万円減少したものの、短期借入金が298百万円、1年内返済長期借入金が118百万円、未払法人税等が100百万円、賞与引当金が85百万円それぞれ増加したことなどが主な要因となっております。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて139百万円減少し5,131百万円となりました。これは退職給付に係る負債が51百万円増加したものの、長期リース債務が67百万円、長期借入金が40百万円、繰延税金負債が39百万円それぞれ減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて299百万円増加し18,181百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて303百万円減少し11,806百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が220百万円、非支配株主持分が44百万円、利益剰余金が35百万円減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.9ポイント減少の37.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて176百万円の資金の増加となり5,533百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、110百万円の資金の減少（前年同四半期は1,094百万円の資金の増加）となりました。これは減価償却費により771百万円増加したものの、固定資産処分損益により676百万円、仕入債務の減少により267百万円減少したことなどが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、111百万円の資金の増加（前年同四半期は622百万円の資金の減少）となりました。これは有形固定資産の売却による収入により1,187百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出により1,009百万円、無形固定資産の取得による支出により49百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、141百万円の資金の増加（前年同四半期は289百万円の資金の減少）となりました。これは短期借入金の純増減額により309百万円、長期借入れによる収入により300百万円増加したものの、長期借入金の返済による支出により221百万円、配当金の支払額により136百万円、リース債務の返済による支出により82百万円減少したことなどが主な要因となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループにおける最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成27年11月5日に公表いたしました「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,408,055	5,581,104
受取手形及び売掛金	6,729,428	6,655,367
電子記録債権	233,669	162,174
商品及び製品	1,612,004	1,762,695
仕掛品	473,508	427,633
原材料及び貯蔵品	489,576	627,604
繰延税金資産	16,123	16,461
未収入金	378,403	518,240
その他	154,768	128,688
貸倒引当金	△2,113	△5,249
流動資産合計	15,493,424	15,874,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,424,907	8,520,754
減価償却累計額	△3,685,936	△3,206,448
建物及び構築物(純額)	5,738,970	5,314,305
機械装置及び運搬具	7,699,373	7,853,966
減価償却累計額	△5,098,628	△5,286,462
機械装置及び運搬具(純額)	2,600,744	2,567,504
工具、器具及び備品	907,968	907,723
減価償却累計額	△597,407	△596,499
工具、器具及び備品(純額)	310,561	311,224
土地	1,503,641	1,559,833
建設仮勘定	753,098	986,959
有形固定資産合計	10,907,017	10,739,826
無形固定資産	141,645	167,114
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132,988	1,920,359
繰延税金資産	27,355	27,642
その他	1,338,368	1,289,941
貸倒引当金	△48,770	△31,032
投資その他の資産合計	3,449,942	3,206,910
固定資産合計	14,498,605	14,113,852
資産合計	29,992,029	29,988,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,070,730	8,867,071
短期借入金	1,599,150	1,897,902
1年内返済予定の長期借入金	449,224	567,492
リース債務	178,635	188,204
未払法人税等	100,181	200,912
賞与引当金	227,248	313,150
その他	985,047	1,014,909
流動負債合計	12,610,218	13,049,642
固定負債		
長期借入金	3,144,781	3,104,538
リース債務	386,733	319,634
繰延税金負債	639,239	600,010
再評価に係る繰延税金負債	2,641	2,641
環境対策引当金	20,450	19,953
退職給付に係る負債	817,063	868,092
資産除去債務	50,871	51,948
その他	209,602	165,118
固定負債合計	5,271,382	5,131,938
負債合計	17,881,600	18,181,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,299,765	2,299,765
利益剰余金	4,575,027	4,539,616
自己株式	△12,123	△12,135
株主資本合計	10,000,424	9,965,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302,755	82,423
土地再評価差額金	5,545	5,545
為替換算調整勘定	1,232,153	1,229,088
その他の包括利益累計額合計	1,540,454	1,317,058
非支配株主持分	569,549	524,933
純資産合計	12,110,428	11,806,991
負債純資産合計	29,992,029	29,988,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,644,021	22,335,076
売上原価	18,500,347	20,158,691
売上総利益	2,143,673	2,176,384
販売費及び一般管理費	2,280,581	2,437,250
営業損失(△)	△136,908	△260,865
営業外収益		
受取利息	9,725	6,796
受取配当金	5,876	8,026
スクラップ売却益	16,714	13,859
貸倒引当金戻入額	3,832	—
その他	8,517	21,094
営業外収益合計	44,665	49,776
営業外費用		
支払利息	65,015	63,476
為替差損	112,775	54,596
その他	22,926	25,757
営業外費用合計	200,717	143,829
経常損失(△)	△292,960	△354,918
特別利益		
固定資産売却益	647	677,745
その他	30	—
特別利益合計	677	677,745
特別損失		
固定資産処分損	2,384	1,418
特別退職金	17,935	—
特別損失合計	20,319	1,418
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△312,602	321,408
法人税、住民税及び事業税	85,767	206,107
法人税等調整額	△56,554	36,827
法人税等合計	29,212	242,935
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△341,815	78,472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△22,743
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△341,822	101,216

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△341,815	78,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,225	△220,331
為替換算調整勘定	△155,880	△24,920
その他の包括利益合計	△4,654	△245,251
四半期包括利益	△346,469	△166,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346,423	△122,180
非支配株主に係る四半期包括利益	△45	△44,598

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△312,602	321,408
減価償却費	613,612	771,192
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,084	△14,601
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,046	47,987
受取利息及び受取配当金	△15,601	△14,822
支払利息	65,015	63,476
支払手数料	—	1,322
為替差損益(△は益)	19,825	△5,833
固定資産処分損益(△は益)	1,737	△676,326
売上債権の増減額(△は増加)	166,687	138,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,879	△253,179
仕入債務の増減額(△は減少)	717,142	△267,256
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△31,811	△119,131
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,685	△62,243
その他	66,068	95,446
小計	1,264,842	26,026
利息及び配当金の受取額	24,047	11,549
利息の支払額	△45,705	△44,223
法人税等の支払額	△148,560	△103,635
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,094,623	△110,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,016	△499
定期預金の払戻による収入	4,648	15,752
有形固定資産の取得による支出	△546,823	△1,009,763
有形固定資産の売却による収入	157,503	1,187,038
無形固定資産の取得による支出	△16,950	△49,890
長期前払費用の取得による支出	△10,454	△4,813
投資有価証券の取得による支出	△2,002	△3,003
子会社株式の取得による支出	△246,576	—
貸付けによる支出	△1,682	△5,940
貸付金の回収による収入	5,170	4,730
その他の支出	△23,733	△28,918
その他の収入	61,465	7,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622,451	111,894

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△781,500	309,430
長期借入れによる収入	1,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△294,748	△221,209
社債の償還による支出	△15,000	—
リース債務の返済による支出	△130,623	△82,838
割賦債務の返済による支出	△34,289	△27,253
自己株式の売却による収入	99,986	—
自己株式の取得による支出	△29	△12
配当金の支払額	△132,986	△136,337
その他	△31	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,224	141,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,176	32,684
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	233,125	176,058
現金及び現金同等物の期首残高	5,240,735	5,357,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,473,860	5,533,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,454,315	9,494,584	2,874,112	1,645,845	19,468,856	1,175,164	20,644,021	—	20,644,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,799	—	104,396	—	116,196	99,271	215,467	△215,467	—
計	5,466,115	9,494,584	2,978,508	1,645,845	19,585,052	1,274,436	20,859,489	△215,467	20,644,021
セグメント利益又は セグメント損失(△)	26,662	△33,459	△115,904	△36,735	△159,436	70,530	△88,906	△48,002	△136,908

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は495,162千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	110,840	214,121	△91,146	47,442	124,998	406,256
全社費用	84,177	247,581	24,758	84,177	54,467	495,162
セグメント利益又は セグメント損失(△)	26,662	△33,459	△115,904	△36,735	70,530	△88,906

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,901,531	9,862,376	3,961,285	1,496,386	21,221,581	1,113,495	22,335,076	—	22,335,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	575	—	27,979	—	28,554	114,082	142,636	△142,636	—
計	5,902,107	9,862,376	3,989,264	1,496,386	21,250,136	1,227,577	22,477,713	△142,636	22,335,076
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△86,569	△26,164	△126,138	△11,878	△250,752	15,079	△235,672	△25,192	△260,865

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は477,985千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	△43,551	236,727	△102,239	69,378	81,997	242,313
全社費用	43,018	262,892	23,899	81,257	66,918	477,985
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△86,569	△26,164	△126,138	△11,878	15,079	△235,672

III 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。